

第4次岡山県廃棄物処理計画(素案)に対する 県民及び市町村からの意見について

第4次岡山県廃棄物処理計画については、昨年11月にまとめた計画素案をもとに、おかやま県民提案制度（パブリック・コメント）に基づく県民意見の募集や、市町村への意見聴取を実施した。

1 パブリック・コメントによる意見（意見の件数：4件／3人）

（実施期間：平成28年11月21日（月）～12月20日（火））

意見等の要旨	県の考え方
<p><食品ロス削減の推進> 食品ロス削減は大切なことであり、家庭、地域、学校給食、飲食業者等あらゆる関係者への協力と徹底を図るため、積極的な取組を希望する。</p>	食品ロスは、家庭をはじめ身近な場面でも多く発生しており、県民の皆様や飲食店等の事業者の方々に協力を依頼し、順次削減の取組を拡大したいと考えています。
<p><家庭から排出される不用品等の利活用> 家庭で不用になったものの再利用や無駄な買い物抑制など、各家庭でできることの啓発を促進されたい。</p>	「おかやま・もったいない運動」などを通じ、3Rの取組促進を市町村と連携して進めてまいります。
<p><違法な不用品回収業対策> 使用済家電等が適正に処理されていないケースが多いため、違法回収をやめさせる具体的なアクションを期待する。</p>	使用済家電製品が適正にリサイクルされるよう、違法な回収業者に対する指導等や県民への注意喚起を進めるとともに、市町村に対し回収体制の整備を促してまいります。
<p><「マイクロプラスチック」の説明> マイクロプラスチックの発生源として、ごみのほか、化粧品等に含まれる微細粒子などがあることを記載されたい。</p>	御指摘を踏まえ、修正します。

2 市町村からの意見（意見の件数：4件／3市町）

意見等の要旨	県の考え方
<p><一般廃棄物の排出量> ごみ総排出量、1人1日あたりのごみ排出量が増加しているが、この原因をどう分析されているのか。</p>	近年、事業系ごみが増加しており、また、生活系ごみについても減少していないことが総排出量等の主な増加原因となっています。
<p><ごみ処理の広域化> 広域化のブロック割について、市町村が検討する際に、柔軟に対応できるようにしてほしい。</p>	広域化のブロック割については、市町村の主体的な協議を促すため、県が協議のフレームとして示したものであり、市町村において、地域の実情を踏まえて、適切な処理体制を判断いただければと考えており、その旨を記載しました。
<p>県の示した広域化のブロック割は、実施できていない地域もあり、フレームの見直しが必要ではないか。</p>	

※この他、文章表現に関する意見あり。